

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2024年3月6日
野村不動産株式会社

リリースカテゴリ

住まい

サステナビリティ

太陽光×蓄電池×高効率給湯器で災害時でも停電しない暮らしを実現 2025年度までに「プラウドシーズン」で全住戸蓄電池付戸建を東京都で5割採用

野村不動産株式会社（本社：東京都新宿区/代表取締役社長：松尾 大作、以下「当社」）は、分譲戸建シリーズ「プラウドシーズン」にて、今後2025年度までに全住戸太陽光発電・蓄電池・高効率給湯器^{※1}付の住宅を、主要事業エリアである東京都にて着工する5割に（年間100戸程度）採用していく方針を決定しましたので、お知らせいたします。

蓄電池は災害時に生活維持の備えとして、災害レジリエンスに効果が期待されており、当社では、今後も防災力（レジリエンス）を高めた物件を供給してまいります。

※1 ハイブリッド給湯器やエコキュート、エネファーム等



【全住戸に太陽光発電パネルを搭載した「プラウドシーズン国立ガーデンシティ」完成予想図】^{※2}



【蓄電池イメージ 4.2kWh】^{※2}

※2 「プラウドシーズン国立ガーデンシティ」は太陽光発電パネル×高効率給湯器を導入した物件の事例であり、蓄電池を搭載した物件ではございません
また、採用する蓄電池はプロジェクトにより変更となる可能性があります

本プレスリリースのポイント

- 2025年度までに「太陽光・蓄電池・高効率給湯器付戸建住宅」を東京都にて着工する5割（100戸程度）のプラウドシーズンに採用
- 分譲マンションプラウドシリーズでも2022年以降着工物件において現状全体の約6割で、太陽光発電、蓄電池の搭載を計画

1. 「太陽光×蓄電池×高効率給湯器」導入について

住宅においては、太陽光発電と蓄電池をあわせて採用することで、日常的な電力のピークシフトによる効率的な電気代削減に加え、災害等の非常時に電気を利用できるメリットがあります。太陽光発電のみ搭載の場合、リアルタイムでの消費・売電のみですが、蓄電池を併用することで、夜間の電力消費や、雨の日など、有事の際にも電力の使用を可能にし、特に住戸ごとに搭載する戸建住宅の場合には、数日間の電力使用も可能となる場合があります。

東京都においても中期的にエネルギーの安定確保につなげる狙いで「HTT <電力をHへらす・Tつくる・Tためる>^{※3}」を推進、その一環として家庭における蓄電池導入促進事業^{※4}にも取り組んでおり、蓄電池システムの設置にかかる費用に対して助成も行い、採用を推進しています。

あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE

プラウドシーズンにおいては、2022年より東京電力エナジーパートナー株式会社が提供する太陽光 PPA サービス^{※5}を活用し、これまで太陽光発電と高効率給湯器の採用を進めてきました。今後は、さらに防災力と環境性能を高めた物件をお客様に提供すべく東京都内においては、太陽光発電と高効率給湯器に加え、蓄電池も備えた戸建住宅を積極的に展開することとしました。今後採用物件を徐々に増やし、2025年度時点で、着工する住宅の5割（年間100戸程度）に太陽光発電・蓄電池・高効率給湯器を採用していく方針を決定しています。

まずは主要な事業エリアである東京都にて積極的に採用し、お客様の声や蓄電池の導入コストを鑑みながら、採用数拡大・更なる商品性の向上を目指していきます。

また展開する分譲マンションのプラウドシリーズにおいても2022年以降着工物件において現状全体の約6割^{※6}で、太陽光発電、蓄電池の搭載を計画しており、災害発生時には対策拠点となる事が想定される共用部への電力供給が可能です。今後もマンション・戸建ともに防災力（レジリエンス）を高め、お客様が安心して長くお住まいいただける物件を供給してまいります。

【ご参考】

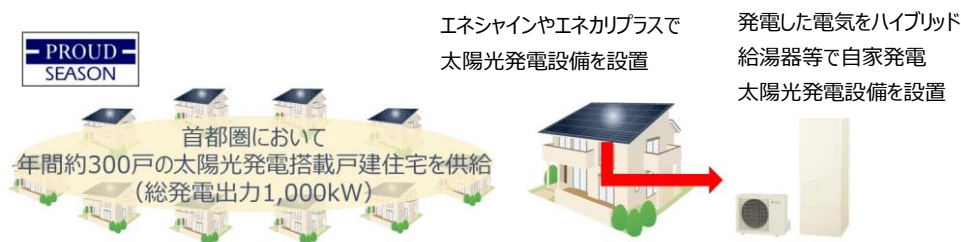
プラウドシーズンでは、2022年より東京電力エナジーパートナー株式会社が提供する太陽光 PPA サービス「エネカリプラス」を活用し、年間300戸相当に太陽光発電設備を搭載することで、メガソーラー発電と同規模の総発電出力1,000kWを目指す取組みとして推進しています。休閒地が少ない首都圏において電力の地産地消を実現する取組みであり、環境への貢献に加え、レジリエンス力を向上させるために蓄電池との併用を検討しています。

<これまでの実績（着工ベース/24年2月時点）>

戸数：397戸

想定年間発電量出力：1,625kW

<エネカリプラスのスキーム>



「国内初」首都圏の戸建分譲住宅に総発電出力1,000kWの太陽光発電を導入（プレスリリース）

<https://www.nomura-re-hd.co.jp/cfiles/news/n2022051802026.pdf>

※3 HTT <電力をHへらす・Tつくる・Tためる>を進めよう

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/tokyo_coolhome_coolbiz/index.html

※4 「令和5年度 家庭における蓄電池導入促進事業 災害にも強く健康にも資する断熱・太陽光住宅普及拡大事業」

https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/family_tikudenchi-r05

※5 「Power Purchase Agreement（電力販売契約）」の略称で、お客さまが PPA 事業者に敷地や屋根などのスペースを提供し、PPA 事業者が太陽光システムなどの発電設備の設置と運用・保守を行うもの

※6 対象：JV 物件は除き、当社単独物件のみ

あしたを、つなぐ

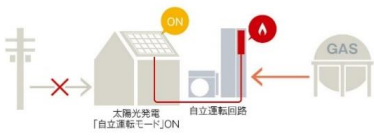


 野村不動産グループ

PRESS RELEASE

2. 太陽光・蓄電池・高効率給湯器を組み合わせる防災面の効果


太陽光発電・蓄電池・高効率給湯器を導入することで、災害等有事の際に、より安定したインフラ環境をご利用いただくことができます。

■従来のプラウドシーズン（太陽光発電×高効率給湯器）

インフラ停止のパターン	現状（太陽光発電×高効率給湯器）		
	電気	ガス	お湯
①電気が供給停止した場合（停電時等） 	○ 太陽発電分は利用可 （晴れの日・日中のみ）	◎	○ 太陽発電分は利用可 （晴れの日・日中のみ）
②ガスが供給停止した場合（災害時等） 	◎	—	◎
③断水した場合（災害時等） 	◎	◎	○ タンクのお湯（水）は利用可
補足情報	太陽光の自立運転機能とガスの給湯運転によりお湯が利用可（100V電源必要）	ヒートポンプの給湯運転により、電気のみでお湯が利用可	1回あたり4～10L程度必要なトイレの水も、高効率給湯器（エコワン）により、タンクに備えた水を非常時に利用可

■今後、蓄電池を採用するプラウドシーズンの停電時（太陽光発電×高効率給湯器×蓄電池）

（以下赤字が優位点、②③は同様）

インフラ停止のパターン	今後（太陽光発電×高効率給湯器×蓄電池）		
	電気	ガス	お湯
①電気が供給停止した場合（停電時等） 	◎ （夜間や太陽光発電が難しい曇りや雨の天気の場合でも利用可）	◎	◎ （夜間や太陽光発電が難しい曇りや雨の天気の場合でも利用可）

あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE

なお、防災上のメリット以外に、環境面においても以下のメリットがあります。

太陽光発電	蓄電池	高効率給湯器
再生可能エネルギーを創る	太陽光発電で作ったエネルギーで自家消費しきれない分を蓄える	家計で使うエネルギーを効率よく使うことで量を減らす

【ご参考】 プラウドシーズンで導入例が多い高効率給湯器の例
ハイブリッド給湯器「ECO ONE(エコワン) | (リンナイ株式会社)

電気とガスの良いとこどりの給湯・暖房システム「エコワン」。
昼間、太陽光発電で発電した電気を使用して、光熱費を節約。

キッチンや洗面、シャワーなどで使用するお湯は、効率の良いヒートポンプで沸かして貯めていたタンクからお湯を供給します。お風呂の湯はりや複数の同時給湯など、お湯を大量に使用するときはタンクのお湯に加え、エコジョーズが必要な湯量をサポートするのでお湯切れしません。電気とガスを使い分ける「エコワン」は無駄なく、快適な暮らしを支えます。



(プラウドシーズン国立ガーデンシティHPより : <https://www.proud-web.jp/house/d150590/concept/>)

あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE

【ご参考】防災・レジリエンスに関するこれまでの取り組み（マンション）

分譲マンションシリーズ「プライド」において、計画時からお客様入居後の暮らしまで視野に入れた「住まいの防災」を定め、「3つの備え」をベースに災害に備える住まいを提供しております。2011年に発生した東日本大震災、2019年の台風19号による神奈川県での内水氾濫等、年々増加する災害の施策として、ハード・ソフト、さまざまな面から考えた備えと、自助・共助を促す仕組みを取り入れ、都度改善を実施しマンション設計の防災基準や防災対策の強化を行っております。

防災力向上の取り組み例

年	取組み
2011年以降	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災を機に、自助・共助の考え方をプライドの防災思想「サークルエイド」として具現化 液状化対策の基準を策定し、液状化の危険があるエリア全物件を対象に必要な対策を実施 マンションシリーズ「プライド」全物件に導入していた防災倉庫・防災備品の内容強化 タワーマンションの場合、上下5フロア以内で到達できるよう救助用品倉庫を設ける事を基準化 プライドでは、2014年より、エネコック（enecoQ）^{※8}の導入を開始 一括受電＋太陽光＋蓄電設備により、災害時は拠点となる共用部の照明等に電力供給実施 物件ごとに防災設備や避難経路について掲載した「防災設備ガイド」を作成 全戸に配布・入居者への周知・サポートを実施 <p>※8 https://www.proud-web.jp/proud/environment/enecoq/</p>
2018年以降	<p>今まで培ってきた災害に備える住まいを実現するため、「サークルエイド」から「住まいの防災」として「3つの備え」を軸とした災害対策と防災の取組みを再策定。</p> <p>「3つの備え」は、建物の計画時からお客様入居後の暮らしまでを視野に入れ、ハード・ソフト両面から、自助・共助を促す仕組みを取り入れた、「自分の備え」「みんなの備え」「プライドの備え」の考え方が基軸となっている。</p>
2019年以降	<p>水害対策として、電気設備や防災倉庫などの基礎上げや上階へ設置を明確にルール化</p> <p>ハザードマップの浸水エリアにおいて、設計上対応ができない場合は電気室や機械室の扉を防水扉にする等の対策</p>
2021年以降	<p>2021年のマンション竣工物件より、「見せる防災・しまう防災」導入をスタート</p> <p>有事の際の在宅避難に向けた適切な初動対応が行えるよう、防災倉庫を裏動線の倉庫に設置するのではなく、日常で利用する共用部に防災備品を「しまう(設置)」・「見せる(ディスプレイ)」を一部物件で設計し、実施。</p>

【ご参考】プライドが考える「住まいの防災（3つの備え）」について

現在、マンションにおいては、災害時に自宅で居住が継続できる場合「在宅避難を推奨する」自治体が増えてきています^{※6}。そのような中で、プライドの防災対策（震災、火災、風水害等）は、マンションづくりの計画時から始まり、ご入居後の暮らしまでを視野に入れて取り組んでいます。

災害事例や地盤調査を元にした設計、地域のハザードマップを踏まえた水害対策等、防災備蓄倉庫の設置等、不動産デベロッパーとしてハード面の対応はもちろんですが、大切なのは入居後にご自身・ご家族で災害への備えができていないか、また入居者同士のコミュニティにおいて、いざという時に助け合える状態環境ができていないかです。

プライドでは、マンションにおいて『住まいの防災（3つの備え）』を実現するためのひとつの仕組みとして、いつ起こるか分からない災害への備えを身近なものと考え、日頃から防災に対する意識を高めるための仕掛けとなる商品として、「見せる防災・しまう防災」の採用を2021年竣工物件より順次行っています。

あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE

『住まいの防災(3つの備え)』

プラウドの備え
ハード・ソフト、
さまざまな面から考える。
災害に備える住まいを
実現するために。



自分の備え
いちばん大切なことは
「自分や家族の身は自分で守る」。

みんなの備え
普段のコミュニケーションも
いざという時の備えになる。

「住まいの防災」: <https://www.proud-web.jp/proud/safety/bousai/>

■野村不動産グループのマテリアリティとSDGsについて

野村不動産グループ マテリアリティ		
DECARBONIZATION 脱炭素	BIODIVERSITY 生物多様性	CIRCULAR DESIGN サーキュラーデザイン
DIVERSITY & INCLUSION ダイバーシティ & インクルージョン	HUMAN RIGHTS 人権	
本リリースの取組が該当するマテリアリティ	野村不動産グループの取組特色	本リリースの取組が特に貢献するSDGs(持続可能な開発目標)
DECARBONIZATION 脱炭素	不動産デベロッパーとして、まずは「省エネ」「低炭素化」の建物開発に取組みながら、「再エネ」の導入も推進。サプライチェーン全体でCO2総排出量の削減を実現していきます。	7 エネルギー安全保障を確保する 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を

※野村不動産グループの重点目標（マテリアリティ）を国連のSDGs（持続可能な開発目標）に当てはめて整理しております。サステナビリティの取組み詳細は以下をご確認ください。
URL: <https://www.nomura-re-hd.co.jp/sustainability/>